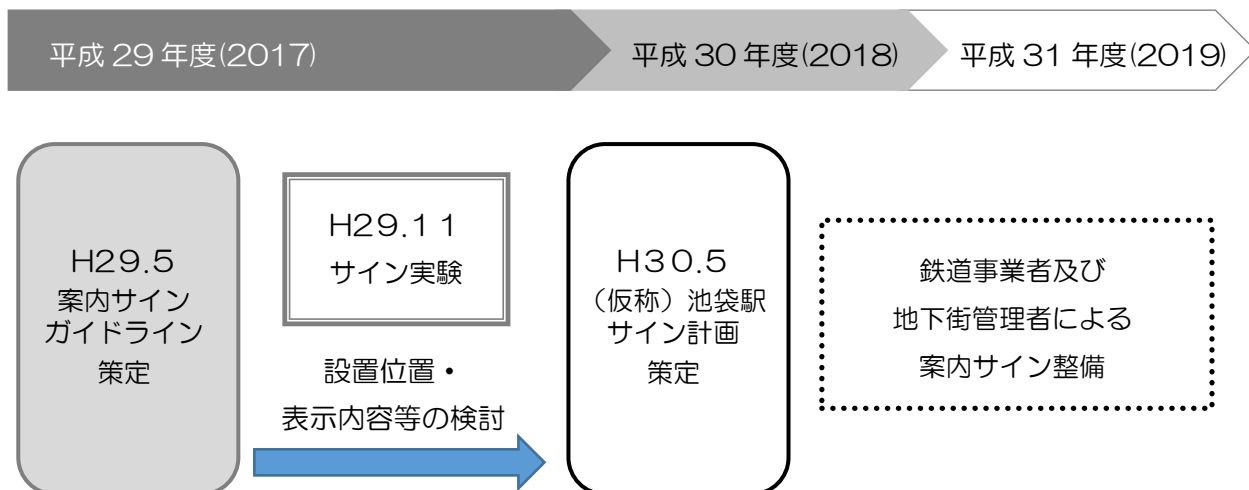


池袋ターミナル案内サイン整備について

1. 案内サイン整備の検討状況及びスケジュール



2. 案内サイン掲出実験報告

(1) 案内サイン掲出実験の概要

現在、各事業者独自のルールに基づき作成し設置している池袋駅地下通路の案内サインについて、池袋ターミナル案内サインガイドラインに基づき共通化の整備を検討しています。

池袋駅の地下通路でサイン整備の共通化を図るのは、JR 東日本、東武鉄道、西武鉄道、東京メトロ、東武百貨店、池袋ショッピングパークの 6 事業者で、対象基数は約 350 基です。

今般、JR 東日本、東武鉄道、東京メトロ、池袋ショッピングパークの 4 事業者にご協力いただき、下記のとおり案内サイン掲出実験を実施しました。

1) 目的

平成 30 年～31 年度に予定している案内サインの共通化整備に向けて、現地にて共通化デザイン案を掲出し、視認性を確認する。

2) 期間

平成 29 年 11 月 12 日(日)から 11 月 18 日(土)

3) 内容

池袋駅地下通路にある、天吊りサインの 8 カ所に、共通化デザイン案を掲示する。

また、構内案内図案を 1 カ所掲示する。

4) 場所

- ・池袋駅 西口 プリズムガーデン付近
- ・池袋ショッピングパーク レンガ通り内



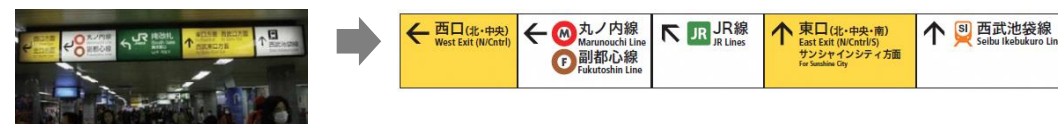
(2) 案内サイン掲出実験に対する主な意見

基盤検討部会員及び関係者の皆様へ、案内サイン掲出実験のご確認をお願いしたところ、「掲出したサイン情報は、とても見やすい。」というご意見を数多くいただきました。その他の主なご意見は以下の通りです。

- ・英字の文字サイズを大きくした方がよい。
- ・広告物により、天吊りサインの視認性を妨げている箇所があった。
- ・東武東上線の表記は、「東武線」ではなく「東武東上線」の方がなじみがある。
- ・地下通路の各交差点で、利用者が現在位置を確認できるように、各交差点の特徴付け(色、番号など)が有益だと感じた。

(3) 案内サイン掲出実験の表示情報

1) JR 東日本 (既存 ⇒ 実験表示面)



2) 東武鉄道 (既存 ⇒ 実験表示面)



3) 東京メトロ (既存 ⇒ 実験表示面)



4) 池袋ショッピングパーク (既存 ⇒ 実験表示面)



≪現地写真≫

